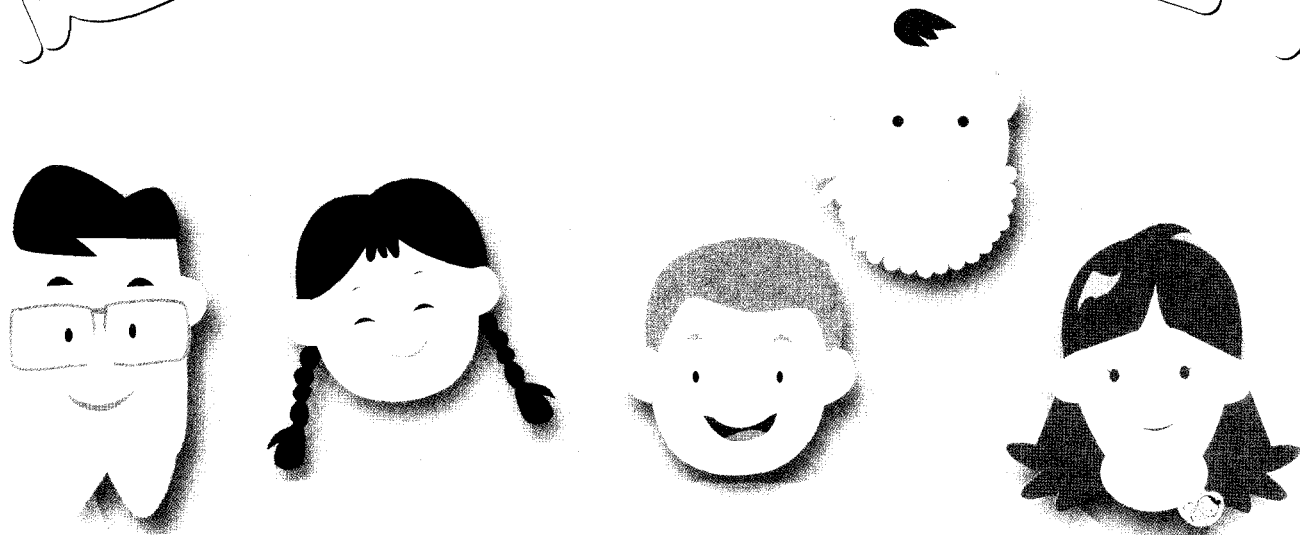
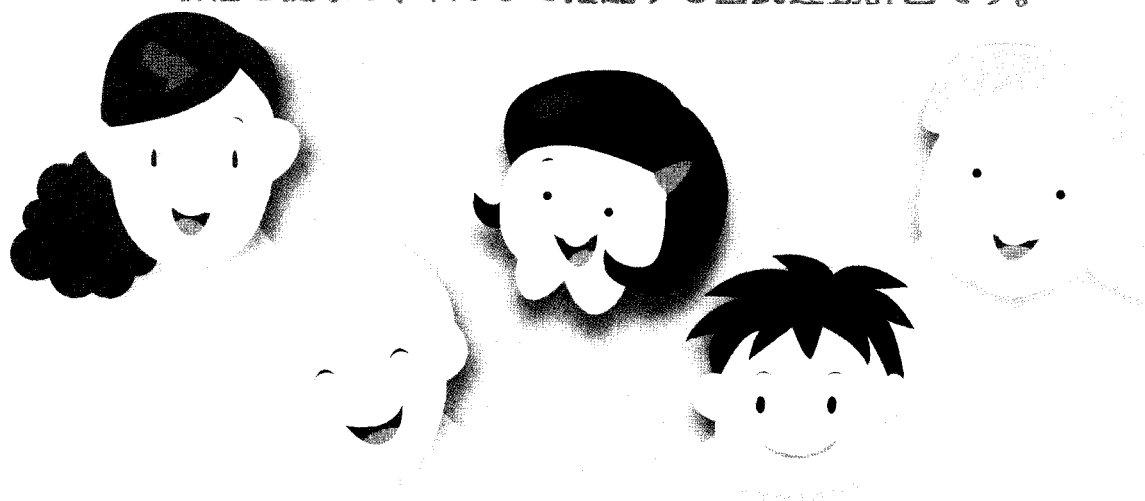


# 健やか親子21



「健やか親子21」は、21世紀の母子保健の主要な  
取組を提示し、みんなで推進する国民運動計画です。



「健やか親子21」は、2001年から2010年までの国民運動計画です。中間年の2005年には中間評価を行い、その結果、次の5項目が重点取組としてあげられました。

- 1 思春期の自殺と性感染症罹患の防止
- 2 産婦人科医師、助産師等の産科医療を担う人材の確保
- 3 小児の事故防止をはじめとする安全な子育て環境の確保
- 4 子ども虐待防止対策の取組の強化
- 5 食育の推進

これらは、専門家や行政だけでは解決できません。NPOや学校、医療機関、企業、そして国民みんなで協力し合って取り組んでいきましょう。

「健やか親子21」の詳細内容は、公式ホームページをご覧ください。<http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>



厚生労働省・健やか親子21推進協議会

# 事故防止対策を実施して、家庭の安全を100%確保



まずは身のまわりのできること“子どもの事故防止”から始めてみましょう。

## 子どもの事故防止対策

幼児期から小学生にかけて、子どもの死亡原因の第1位は「不慮の事故」です。子どもの事故の内容は、年齢によって特徴がありますが、多くの事故は親の注意や環境づくりによって防ぐことができます。ご家庭で事故防止対策ができていないかチェック欄に「○」をつけてみましょう。

### 1歳6か月ごろ

項目	チェック欄	
	1回目	2回目
1 子どもを1人で家や車に残さない		
2 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている		
3 浴槽に水をためたままにしない		
4 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く		
5 タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く		
6 ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く		
7 暖房器具(ストーブ・こたつなど)の熱が直接触れないようにしている		
8 ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く		
9 ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視している		
10 階段に転落防止用の柵を取り付けている		

### 3歳ごろ

項目	チェック欄	
	1回目	2回目
1 子どもを1人で家や車に残さない		
2 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている		
3 浴槽に水をためたままにしない		
4 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く		
5 タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く		
6 ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く		
7 ストーブやヒーターなどは、安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしている		
8 お箸や歯ブラシなどをくわえたまま走らせない		
9 すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている		
10 ベランダや窓のそばに踏み台になるものを置かない		

※すべて「○」がつきましたか？ 1度だけではなく、時間をおいて再チェックをしてみましょう。

### 1~4歳に起こりやすい事故

起きやすい事故	予防のポイント
転落・転倒 ●ベランダや階段などからの転落	箱、家具など踏み台になるようなものをベランダや窓際に置かない
やけど ●炊飯器や加湿器の蒸気にさわる ●アイロン、ストーブにさわる ●ポット、鍋をひっくり返す	ストーブ、アイロン、ポット、鍋などやけどの原因となるものに子どもがふれないようにする／ストーブなどには安全柵をつける
溺れる ●浴槽に落ちる、水遊び	わずかな水でも残し湯はしない／お風呂場に外鍵をかける／水遊び時はライフジャケットをつける・目を離さない
誤飲・中毒・窒息 ●医薬品、化粧品、洗剤、コイン、豆などを誤って飲む	危険なものは子どもの目にふれない・手の届かない場所にかたづける／ピーナッツなど乾いた豆類をたべさせない
交通事故 ●道路への飛び出し	手をつないで歩く／三輪車に乗る・自転車に乗せる時はヘルメットをつける



#### 子どもの事故防止支援サイト

年齢別にチェックできる安全テストを参考に、子どもの事故を防ぐための育児環境の再点検をしましょう。

<http://www.niph.go.jp/soshiki/shogai/jikoboshi/index.html>

# 子どもの生活リズム向上プロジェクト(拡充)

19年度予定額 242百万円 (130百万円)

## 最近の子どもたち

○子どもの基本的生活習慣の乱れ

※就寝時間の遅れ

①22時以降に就寝する幼児(6歳以下)の割合:29%

(平成17年度 ベネッセ教育研究開発センター「第3回幼児の生活アンケート」結果より)

②小学校高学年で23時以降に就寝:29% 中学生で24時以降に就寝:47%

(平成17年度 義務教育に関する意識調査より)

※朝食を食べないことがある小中学生の割合:小学生 15%、中学生 22%

(平成17年度 義務教育に関する意識調査より)

○毎日朝食をとる子どもほど、ペーパーテストの得点が高い傾向(平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査結果より)



子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムの向上をめざして、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進

子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業の実施(拡充)

85百万円

「生活リズム向上指導資料」の作成(新規)  
11百万円



子育て支援団体のリーダーや社会教育主事等の指導者が、子どもの生活リズムの向上に資する事業の企画立案あるいは親等への相談等に依る際に参考となるよう、子どもの情動等の科学的知見や望ましい生活リズムが教育へ与える影響などの研究成果等をふまえた内容を盛り込んだ指導資料を作成する。

普及啓発事業の委託(拡充) 【民間団体への委託】

74百万円

子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させることを含め家庭教育支援の機運を高めるため、関係機関・団体等と連携し、下記の普及啓発事業を実施。

- (1) ポスター等の作成・配布
- (2) 中央イベントの開催
- (3) 全国フォーラムの開催



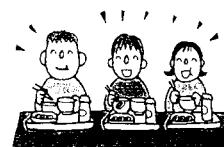
子どもの生活リズム向上のための調査研究の実施(拡充)【民間団体への委託】

155百万円

学校、PTA、子ども会、自治会、町内会など関係団体が連携し、地域ぐるみで子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、子どもの生活リズム向上のための全国的な取組状況を調査し、先進地域における事例研究や生活リズムの向上による効果の分析、検証等を行う。

※子どもの情動等に関する脳科学等の成果を踏まえ、新たに、乳幼児期における愛着形成など、乳幼児を中心とした調査研究を実施

実施地域数: 35地域→70地域  
(35地域+乳幼児期調査(新規)35地域)

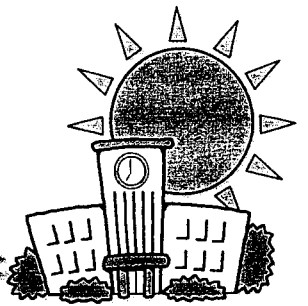


子どもたちの健やかな成長のための  
基本的生活習慣の確立

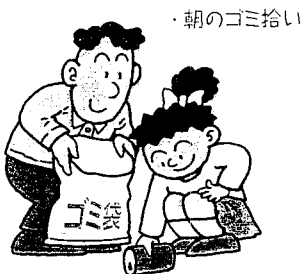
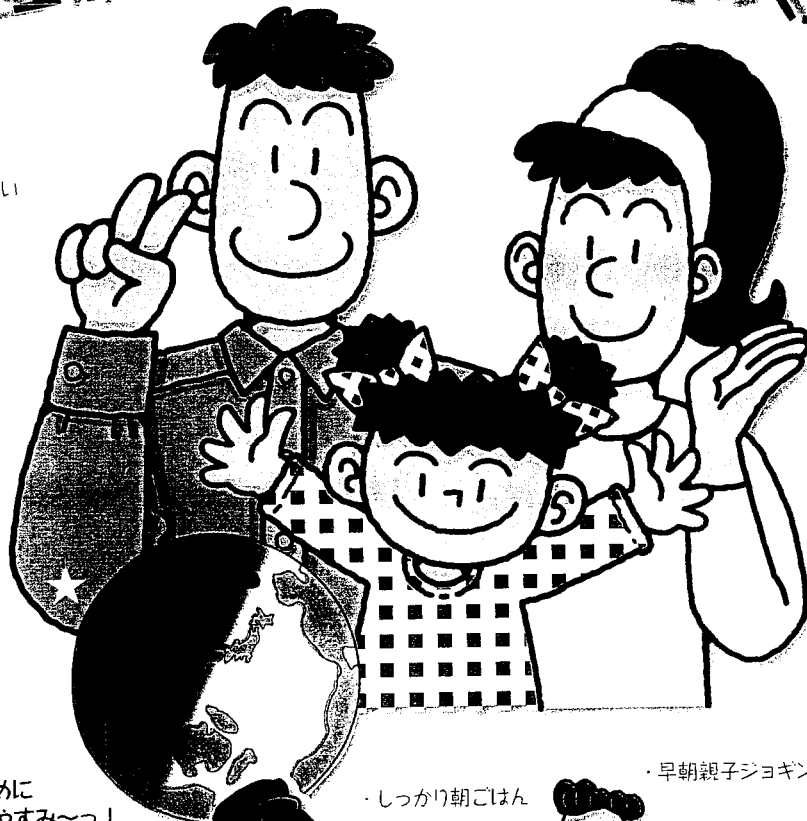


# 「早寝・早起き・朝ごはん」

## 国民運動



子どもたちの正しい生活リズムを  
地域全体ではぐくめる社会をつくらう!



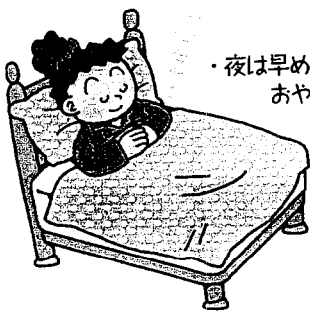
・朝のゴミ拾い

だいたいな地域の  
コミュニケーション

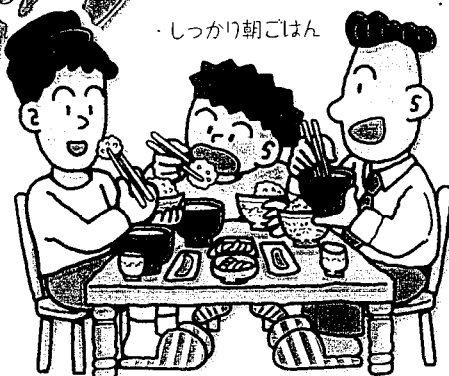


・ラジオ体操

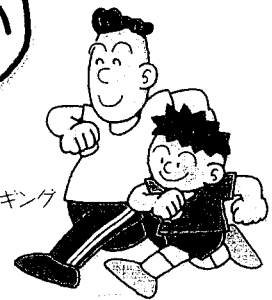
健康ながらたづくり



・夜は早めに  
おやすみ〜っ!



・しっかり朝ごはん



・早朝親子ジョギング

心と体の安定!

・公園散歩  
・ウォーキング



### 「早寝・早起き・朝ごはん」 国民運動とは?

- ・望ましい基本的生活習慣を育成
- ・生活リズムの重要性を再認識
- ・地域ぐるみで支援するための環境整備
- ・学習意欲・体力・気力の向上を図るなど

地域社会、学校、家庭が一体となって、  
心身ともに健康な子どもたちの育成  
をめざします。

・読書 絵画



想像力・表現力を身につけよう!

創造力を育て



・いも掘り等  
体験学習

もっと向き合っていいんじゃない？

# 「子どもを見つめよう！」 キャンペーン

勉強はちゃんと理解できているかな？



学校では友達と仲良くやっているかな？



寂しさを我慢していないかな？



いじめられたりしていないかな？



4月5月は「子どもを見つめよう！」月間です。

親子が一緒に過ごす時間、短くなっていませんか？

家族の約束事として就寝時間や起床時間を決めたり、朝ごはんを一緒にとる時間を作るなど、できることから家族一緒に生活リズムの向上に努める機会を作りましょう。

特に、「3のつく日」は、子どもを見つめましょう。



全国協議会



「早寝早起き朝ごはん」全国協議会

子どもをしっかり見つめると、その表情や態度の変化から、子どもの不安や、悩みに早く気づくことができます。明るく健やかな子どもの生活のためにもっと「子どもを見つめよう！」



\*毎月3のつく日(3つ目=見つめ:3,13,23日)を「きちんと見つめ、しっかり関わる日」として実施。

全国一斉「子どもを見つめよう！」月間  
「早寝早起き朝ごはん」国民運動展開中!